

市報

とおがまち

編集発行／十日町市役所(電話(天7-8100)毎月10日/昭和52年6月5日第8種郵便物認可(1部6円)



© 1977 十日町市役所

悪質なゴミを
取り除く

衛生センターのゴミピットはスイカや機織の皮などのゴミが山積み。これらの夏ゴミは水分が多くて発酵臭が強く、仕事ができなかがどらない。

専員は巨大なクレーンのバケットで燃えやすいゴミと燃えにくいゴミをかき分け、混合しているところ。

十日町市、川西町衛生施設組合では、夏場のゴミの出し方について、特に台所のゴミは水切りを完全に。また、やぶらやすすい紙袋等は供わないよう注意している。

新入会員の田代君が
市民のみなさんへ

今月の主な内容

わたくしたちの市にも博物館が誕生します	2-4
ゆずりあふれ心で夏の交通安全	5
魅力ある地域づくりを目標として	6-7
5万市民の夏計画	8-11
さももの源流をたずねて	12-13
上水道から下水道へ	14-15
おたくしたらど健康づくりを	16-17
白の思いきり夏を楽しもう	18-19
すすむ教育文化施設の整備	20-21
白いご飯にごきげん	22

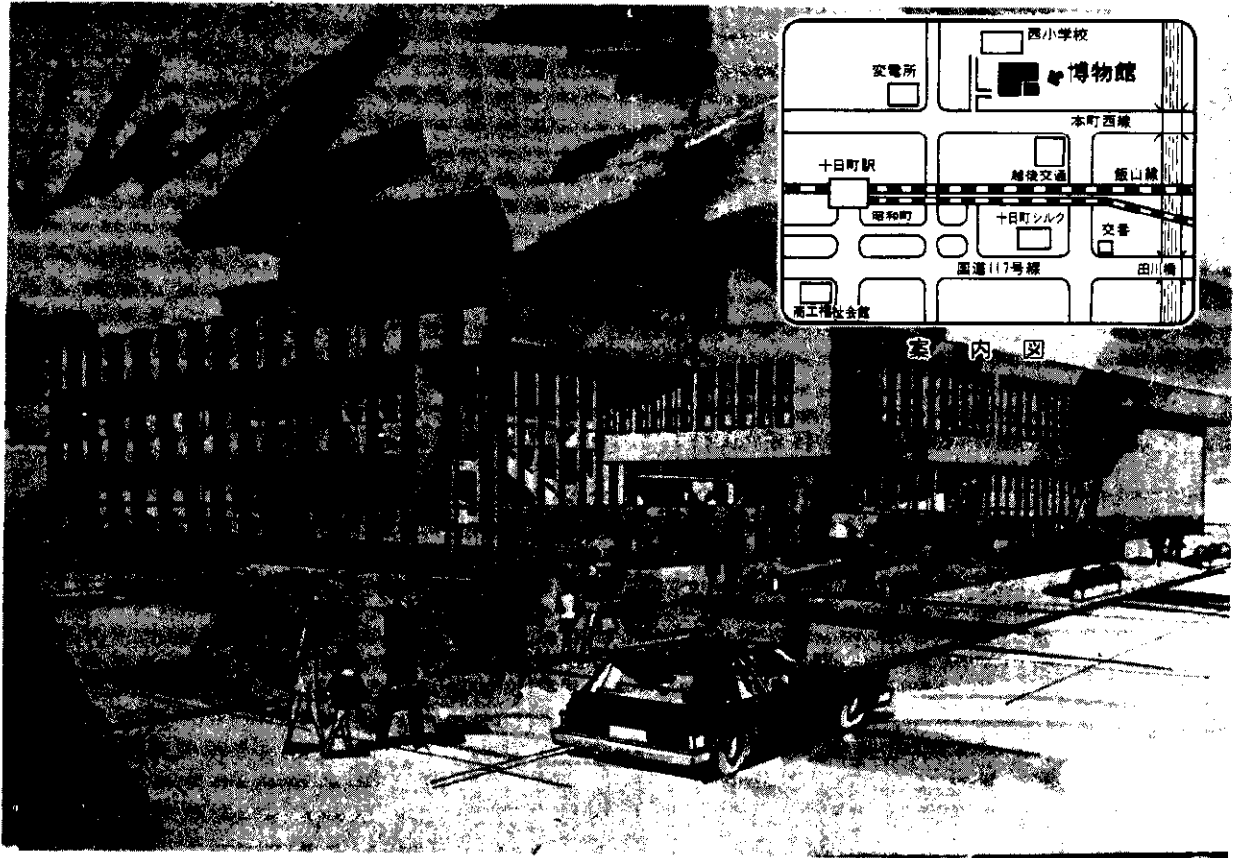
8/10 August

□250号□

わたくしたちの市にも

3ページ特集

博物館が誕生します



十日町市博物館の完成予想図

オープンは 来年の秋(予定)

市では現在、郷土の長い歴史を物語る貴重な資料や、急速に失われてゆく文化財を守り、保存して後の世に伝え、あわせて市民の学習に役立てるための施設である、博物館の建設をすすめています。

建物は高床式鉄筋一部二階建てで、総面積は約一六五〇平方メートル(約五〇〇坪)。上記のイラストは博物館の完成予想図です。建設地は西小学校手前であの古墳時代から平安時代にかけての大集落が発見された、馬場上遺跡のあった台地の上です。すでに文化財収蔵庫が完成しておりますのでごそんじの方も多いかと思います。

建物の完成は来年三月末。開館は来年の秋を予定しています。博物館はみんなのもの

ところで、博物館については一般的に、たいへん珍しいものや古いものを集めておく所、といった程度の認識しかなされていません。それに博物館という事は、博物館ゆきとか、「博物館的存在」とかいう表現が使われるように、古くさくて役にたかないものといったイメージがつきまといまいます。

けれど、博物館のことを英語ではミュージアム、ドイツ語ではムゼウム、フランス語ではムジといまいます。これはいずれ

も人間の知的活動をつかさどるギリシャ神話の中の女神、ミューズから出ていることばです。すなわち博物館は、学問や芸術の神の殿堂という意味になります。

戦後、世界的に博物館は「実物教育の場」であり、「知識と体験の場」であるとしてその存在がクローズアップされてきました。そして、「民衆の大学」として近年その重要性が再認識され高く評価されてきています。

博物館の仕事

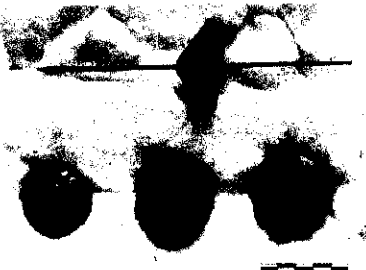
日本においても昭和二十六年に博物館法が制定され、その第二条に「博物館とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管(育成)し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーションに資するために必要な事業を行い、あわせてこれら資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」と規定されています。

これは簡単にいえば、ものである資料をある場所に集め保管し、調査・研究した資料を展示して人に見せることを中心とした教育機関であることになりまいます。つまり博物館は、

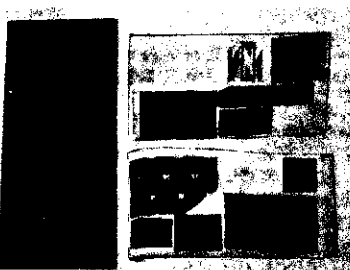
- (一) 集収・保存 (二) 調査・研究
- (三) 展示を中心とした教育普及活動

という三つの機能を持つてはじめて正しい博物館といえるの

「これらの活動をあわせて博物館活動」といいますが、この博物館活動は広い意味で教育活動でもあります。



ツム(上は近年のもの、下は奈良時代のもの)



博物館見本帳

開館が楽しみ
雪と織物と信濃川をメインテーマとした、郷土色豊かな博物館の建設が始まり、十日町にまた一つ文化施設が誕生することになりました。

大島伊一さん(水町町) これは貴重な文化遺産の流出を最少限に食い止めることができると共に、郷土の文化、産業、歴史をより広く、深く理解して頂く施設として、その意義はきわめて大きいものがあります。

一方、博物館は展示と収蔵だけが目的ではなく、研究や学習の機能を合わせ備えた教育施設でもあり、市民の皆さんの積極的な参加、利用を切に望みます。

博物館の設置を希望していた1人として、関係諸氏に心から感謝申し上げますと同時に、来秋の開館を今から楽しみにしています。



二 廣 真 子 さん (昭和町)

自分をつみつななおす場所に
夏は暑さうらぐたり、冬は寒さとのたたか、現在は不況にあえぎ、ともすれば現実的なみづしつがさるるようになって、自分の生きかたをみいだすのが、

でも今日よりすばらしい明日を夢みる市民の願いとしては、博物館建設は1つの希望です。

私達の郷土は、長い歴史と伝統をうけつぎ今日に至っております。妻帯に生きていくようになったと思、遠い昔、この地で大らかな生活を営んでいた先祖を思い、現在の自分を省みて「親にかえる。」

そうした静かな充実した時間が、博物館を1つの手がかりとして、主婦にも持てたらいいなあと感じます。

蛇足ながら、だんな兼財宝をしまっておく蔵でもつくって、対外的な示威にすといつたようなものではなく、地域住民が広く気軽に出入りのできる博物館であることを望みます。



村 山 守 さん (北新田)

市民の間に定着を
ようやく我が市にも博物館ができるようになりました。この館のテーマは「雪と織物と信濃川」とのことですがこのテーマこそ十日町市の歴史を語る上になくてはならないものではないでしょうか。

私も青年学校で郷土史を学んでいるため、特にこの博物館に寄せる期待には大きいものがあります。

織物産業が転換期に立つ今博物館の果たす役割は大きいと思います。こどもも早くその活動が市民の間に定着するよう祈っています。

☆市教育委員会 社会教育課 電話 七三二二一
☆市民館 内線 二七四
☆もよりの公民館 電話 七五〇二一



越後ちぢみの織物

こんなものがあなたの家に眠っていませんか?
あなたの資料を博物館に

市では、郷土のかけがいのない文化財や資料を永久に保存して市民の学習に役立てるため、郷土資料の収集の方を入れてきました。おかげさまで収蔵物もかなりの数になっております。しかしまだ貴重な資料や多くの民具がみなさんのお宅で眠っているのではないかと懸念されます。そこで博物館建設を機に、みなさんのご協力でこれらを博物館資料とし、より充実させたいものと考えています。下の表のような資料がありましたらご寄

文化財収蔵庫も
ご活用下さい!

貴重なものや希少なものには博物館という方法もありません。文化財収蔵庫で文化財を火災・盗難から守り永久に保存いたします。

- ①書に関するもの
書(下駄・アタカタカケ・ワラツツ・スツベ・毛足 製紙・製糸機・柄見本帳・袋帯) 書翰の類(スクリ・ドビー・古い調帳簿(透帳簿・カンジキ・スボン等) かが 一乘・風道・紙織・産紙)
- ②織物に関するもの
りもの(ワラツツ・シヨロポ 明石・若匠生地・錦仙等) シ・ズキン類・笠類 その他 舟道具(舟・櫂・いかり・もつな・サオ等) 川魚をとる 道具(安き道具・釣道具・アヤ・手かせ・竹目・あくべ・ミ型)等。
- ③その他古文書・古記録等。

たはそれに相当するものを見せ、あるいは触れさせて、発見させ、考えさせることができます。これは教育の原点ともいえることであり、たとえば、録音テレビ、ラジオや、教科書による学校教育などとは違った博物館独自の手法です。つまり、自分の目、耳、手などで確かめることのできる実物教育の場なのです。さらに別の角度からいえば、いつでも、誰でも、どのような利用でも生涯教育の場ともいえます。

十日町市博物館の「めざすもの」
こうした一般的な定着に立つて

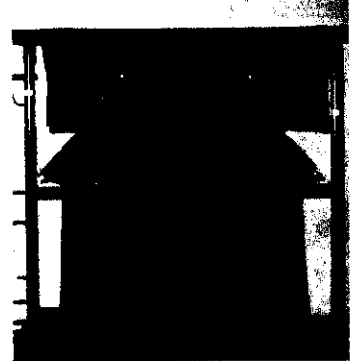
十日町市博物館では、妻帯地方に古くから伝わる文化財や、産業・歴史を通して、市民から郷土をよりよく理解してもらい、祖先のほくんできた文化を愛し育て、未来に向けて郷土を考えてもらうという事です。

つまり、十日町をいろいろな角度から考え、物をつうじて、地域研究をすすめる、教育普及活動をしていく機関なのです。

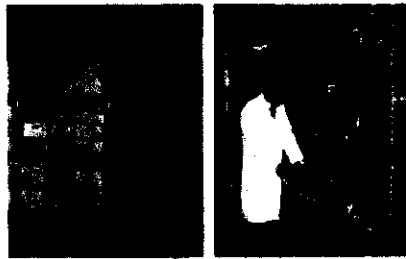
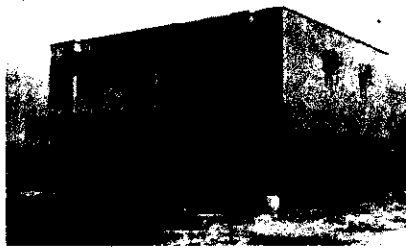
さて、その博物館活動の内にあって、市民は重要な部分をしめていきます。

中から生まれた文化などに人がつとめて、善悪を知り、博物館資料、民俗資料を中心に展示しようとする計画をしています。

十日町市博物館は、地域研究や文化財保存を通して地域の文化センターとして、利用者に対する知的サービス機関として、さらには市民の教育の場、余暇の場として活躍にゆるる博物館をめざしています。



イザリバタ



文化財収蔵庫とその内部

こんな資料が博物館に

「ご寄贈（寄託）ありがとうございます。」

文化財収蔵庫は、博物館建設にさきだて昭和五十一年三月に完成しました。これはみなさんからの寄贈、ご寄託いただいた資料や、各地の連絡から出土した遺物を大切に保管して、展示いたします。建物は博物館と同じ高床式で二階建て、延床面積は約三八〇平方メートル（約一五畝）あります。

写真は収蔵庫とこの内部に保管された資料の一部です。このように収集、保管された資料は、現在、民俗資料約三三〇点、遺跡出土の土器、石器等が展示されています。約三三〇点、その他古文書、古記録類など多数にのぼります。ここに集められた資料は、専門家によって調査、研究、分類され、市民のみなさんの学習に役立ちます。

設立より整備されています。そして博物館が完成すると、この中からあるものは展示され、あるものは研究のよき資料となつてそれぞれの利用がはかれるのです。

文化財収蔵庫は博物館と本になつて、これからの文化財保護に重要な役割をはたしていただくのです。



くわ入れする春日市長

博物館建設の概要

建設地	十日町市寅甲382-1番地
敷地面積	5,943㎡
建築構造	鉄筋コンクリート一部2階建高床式
延床面積	1,675.57㎡
（展示室）	478.65㎡
（収蔵庫）	267.13㎡
（休憩室）	163.89㎡
（集金室兼特別展示室）	161.15㎡
（研究室）	52.39㎡
（事務室）	39.85㎡
（作業室）	28.27㎡
（その他）	494.30㎡

工 期
昭和52年7月15日着工
昭和53年3月20日竣工予定
昭和53年秋開館予定

工 費
総工費 2億570万円
（本体）1億3,280万円
（電気）3,300万円
（空調）2,590万円
（給排水）1,400万円

最高のスタッフに期待

十日町市博物館は、今回の建設費に昨年完成した収蔵庫さらに展示の費用を併せるとおそらく4億に近い大事業、文化市長の大英断！

しかも、設計、施工は定評ある業者。収集、整理、展示には館内にすぐれたスタッフもいるが、ほかに中川立教大学教授山口県民俗学会会長、住々木立教大学講師と権威者がそれぞれの分野で協力する。実に最高のメンバーといわれよう。おおいに頑張って待つべきものがある。

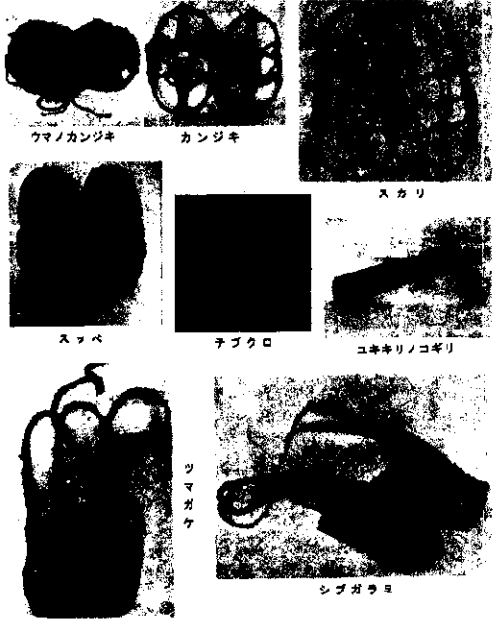
これまでに収集した約3万点の資料は、収蔵庫で出番を待っている。完成の上は市民の教養の源泉地、憩いの場として老、壮、青、少、広い層の活用が望まれる。



山内章平さん（本町3）

資料寄贈（託）者名簿（昭和51年9月～52年7月）

森小島	宮沢	田川	南川	南川	高橋	福原	五十嵐	二葉	中野	保坂	みやま
林虎弘	沢忠男	川元	清元	清元	橋本	原次郎	原次郎	原次郎	原次郎	原次郎	原次郎
文男	久男	文男	元男	元男	元男	元男	元男	元男	元男	元男	元男
山田	池田	尾身	尾身	尾身	尾身	尾身	尾身	尾身	尾身	尾身	尾身
野六郎	良男	圭定	圭定	圭定	圭定	圭定	圭定	圭定	圭定	圭定	圭定
高田	内山	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田
田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中
山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内
山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内





吉田中学校自転車教室

ゆずりあう心で 夏の交通安全

夏の交通事故防止運動実施中



ゆつくり走って交通事故を防ごう

新潟県、十日町市、十日町市交通安全対策会議では、去る七月二十一日から八月二十日まで

八月は、暑い日が多く、また、お盆やお祭りなどで気もゆるみがち。私たちが人の命の尊さを考え、市民へるみて悲惨な交通事故を絶滅させようではありませんか。

各地区で活発な運動を展開中

夏休みこそ、交通安全教育には絶好の期間です。

十日町市、十日町市交通安全対策会議の協力のもと、各地区で熱心な活動が続いています。街頭指導はもとより、夜間パトロール、交通安全指導所の設

学校町で屋外映画会



を、「夏の交通安全事故防止運動月間」として運動を展開中

です。これから特に、お祭、お祭りなどを控えており、車輛の増加が予想されます。つぎの事に心がけて夏を乗り切りましょう。

◆旅行、海水浴等で遠出する時は、体調を十分整え、日程、道路事情等を再チェックする。

◆経済速度は四十キロ、安全第一、余裕のある運転を。

◆むりな追い越し、スピードの出し過ぎは事故のもと、絶対にしない。

◆酒酔い運転をしない。また運転者に酒をすすめない。

置、桂公園その他を利用して、子どもと母親ぐるみの交通安全教室、自転車教室、屋外映画会、交通安全施設の点検と増設等、市内の随所で交通安全にとり組む、市民の皆さんたちに出会います。一年中で最も暑く、事故の多発する時期ですが、わたしたちはひとりひとり注意しあ

て、悲惨な交通事故を追究しましょう。

交通事故相談は毎月第一木曜日の午前十時から午後三時まで、市役所市民相談室で行っています。



母子で学ぶ正しい横断 水沢南部地区カンガルーの会

幼児の交通安全は、家庭でのしつけがいちばん重要——。と「母と子」が一体になって交通安全教育の指導を進めてきた、水沢南部地区交通安全カンガルーの会が、ことしで5年目を迎えました。水沢南部保育園に事務所を置き、その保育園地域内の幼児と母親が、定期的に保育園に集って、正しい交通ルールを守って行こうと、練習を重ねています。

服部母の会会長……この頃各会員が、習慣のように溶け込んでやってくれています。へき地保育所あつかいになっていきますが、公立以上のほこりを持って、保母さん方ともども努力しています。



大島新三さん (駅通り)

非常勤交通指導員のひとこと

8月は道路を守る月間です

道路は、私たちの生活に自然と溶けこんでいるので、道路の効用というものは、うっかりすると見過ごされてしまうことがあります。

八月一日から三十一日までを「道路を守る月間」として、道路のもつ意義と正しい利用を、あらためて考え直して行くことになりました。関係官公庁では、調査、点検を行い、整備計画の再検討、また交通安全運動などを加えて道路を守る仕事を進めます。

●道路はみんなのもの、土砂やごみを捨てたり、歩道に商品等を並べたりしない。

●特別な目的で道路を使用するときは、市役所建設課へ道路占用の手続きをとってください。

①道路を使って工事などを行なうとき。

②道路に関係する施設をつくるうとするとき。

③一定期間中、器具、材料などの置場にしたとき。

④路上に広告物を出そうとするときなど。

子供達は、学校生活から開放された安心感と、自由に行動ができる満足感でウキウキしています。また、お盆やお祭り、海水浴等、楽しい行事がいっぱい。でも、睡眠不足や暑さのため疲れがちになります。そのためポヤツしたり、無理なことをしてしまいます。危険な場所を遊んでいたりと、歩道でない所を歩いているのを見かけたら、その都度注意してあげてください。また、家族で遠出する時は、特に気をつけましょう。交通事故は、みんながその気になれば必ずすくなくなくなります。

力ある地域づくりを目ざして……



本市の農業は、山間豪雪地帯にあって自然条件、社会的条件、その他農業をとりまく全ての条件が悪く、農業所得の伸びなやみは、農外所得への依存度を高める結果となっています。

このため、農業後継者の他産業への流失が目立ち、農業の近代化の伸長は極めて緩慢な状態といえます。

しかし、低経済成長のなか、最近大都市から中小都市へのUターン現象をはじめとして、郷土を農業を見直そうというムードも起っています。

こうしたなかで、市では織物と農業を基軸とした調和ある産業の発展を促進し、活気に満ちた産業都市の建設を進めています。

今月は、本市の農業の現状を考えるなかで、魅力ある地域づくりを目ざして新しく計画されている農業振興の概要をとりあげてみました。

東下組地域に

特定農山村振興特別対策事業

過疎地域等は、わが国土の大きな部分を占め、農林水産物の供給、水資源の涵養、国土の保全、国民休養の場の提供等の重要な役割を担っています。

しかし、これらの地域は、その自然的、社会的、経済的諸条件が恵まれていないため社会生活や生産機能の維持発展が困難になってきています。

このため、農林省では昭和五十年から新たに「特定農山村振興特別対策事業計画」を策定し、地域の実情に即した生産対策と生活環境の整備を実施し、魅力ある地域づくりの推進を図

ってきました。これに対して、本市では特定農山村の要件に該当する地域として下条地区（東下組地域）を選定し、国に申請していましたが、このほど認められ、つぎのような振興計画が樹立されました。

五十五年度に生活改善センターを建設

実施計画は、昭和五十二年から五十五年までの四カ年計画で、農業経営近代化事業として六千九十八万二千円、環境整備事業として千七百五十万二千円の事業となっています。

事業種目	区分	種目	事業細目	受益戸数	事業量	
					数量	面積
農業経営近代化事業	施設整備事業	水田作経営近代化施設	育苗施設	20	出芽室・作業室・緑化室 鉄骨平家建・パイプハウス	
			乾燥調製施設	20	乾燥調製場 乾燥機2台	
			農業機械	20	農用トラクター20PS 1台	
	畜産経営近代化事業	施設整備事業	畜舎	5	肥育豚舎3棟 尿槽3基	
畜舎			4	乳牛舎1棟・堆肥舎1棟 サイロ4基		
環境整備事業	生活改善センター設置事業	建物	建	132	129.17㎡	
			内部施設	132	一式	

生活改善センターの施設概要

構造 木造 カラー鉄板葺 2階建 1棟
延面積 129.17㎡

- 【1階】生活改善実習室・農林漁業研修室
相談室・その他
- 【2階】集会室・その他

第一年度は、二子水稲生産組合が事業主体となり、二子地区内に育苗施設、穀乾燥調製施設、農業機械の施設整備を行います。

第二年度は、澗野肥育豚舎利用組合が事業主体となり、肥育豚舎三棟を澗野地区内に建設。

第三年度は、東下組乳牛舎利用組合が事業主体となり、澗野地区内に乳牛舎一棟を建設。

最後の第四年度には澗野地区内に生活改善センターを建設します。このセンターは、東下組五集落百三十二戸の人たちが生活改善や経営技術の研修、各種集會に利用するとともに、あわせて健康管理、地域住民のコミニケーションのための集會にも活用し、地域の産業の振興と生活水準の向上に役立てるものです。

魅



北澄坂に就業改善センターを建設

農村地域工業導入特別対策事業

農林省では、昭和四十六年に定められた農村地域工業導入促進法に基づき、農村地域工業導入特別対策事業を推進してきましたが、本市でははじめて吉田、高山地域が指定され、北澄坂地区内に就業改善センターなどを建設する計画となります。

この特別対策事業は、農村地域への工業の導入を積極的、計画的に促進し、農業従事者がその希望及び能力に従ってその導入工業に就業できるようにするとともに、一方で農業構造の改善を促進することにより、農業と工業との均衡ある発展を図り、また雇用構造の高度化に資することを目的としています。

四カ年計画で推進

市の実施計画によると、この事業は、農業就業近代化施設整備と農業生産基盤整備の二本の柱から成り立っており、昭和五十二年年度から五十五年度までの四カ年計画で、総事業費約九千七百万円となっています。

第一年度、第二年度については、農業生産基盤整備事業として十日町土地改良区が高山地区の四ヘクタールのは場整備(区画整理・換地)を実施。

第三年度、第四年度では、農業就業近代化施設整備事業として北澄坂地区内に鉄筋コンクリート造二階建の就業改善センターを

就業改善センター施設概要

構造 鉄筋コンクリート造2階建

延面積 607.3㎡

- 【1階】 事務室・宿直室・教養娯楽室兼宿泊室・保健相談室・浴室
- 【2階】 農業経営研修室・他産業研修室資料室・生活改善実習室・就業改善相談室

設置する計画となっています。

特に、この就業改善センターについては、農業経営及び技術、他産業研修施設として、農工就業者の生活改善指導施設として

全体実施設計二年目を迎えた

苗場山ろく開発第二地区

水沢出張所内に開設されている北陸農政局「苗場山ろく第三



代替予定地に植林

市では苗場山ろく開発によって伐採される森林に対応するため、南雲原に1.5haの森林代替造林用地を取得、去る6月中旬、森林組合により杉の春植えを実施しました。

地区全計班事務所では、調査費三千万円で第二年度の全体実施設計調査を予定しています。しかし、第三地区の農業開発計画は、清津川ダムにかんがい用水を求める方針のため、同ダムの着上と密接な関係があるため、この点について現在検討が

二子水稲生産組合

二子地区の農家二十戸によって結成されたもので、水稲経営に係る共同利用機械及び施設の設置、共同利用の事業を行う。この地区は、水田が山間地にあり、従来は不整形、小区画のものが多いので、多くの営農努力を必要としていたが、近年労働力の老令化や出機等他産業就業の移行などから機械化等高率体系への整備が望まれていた。

瀧野肥育豚舎利用組合

瀧野地区には、九戸の養豚農家があるが、このうち五戸の畜産経営農家が結成したもので、養豚経営に係る共同畜舎の建設及び共同利用、生産資材の共同購入などの事業を行う。この地区は、経営耕地面積も五十一アールと少いため、約二十年前から養豚経営をとりいれて、近年過疎化の進むなかにあつて若者が非常に意欲的に技術向上に努めている。

東下組乳牛舎利用組合

東下組の瀧野及び平の酪農家四戸で結成したもので、畜産経営に係る共同畜舎の建設及び共同利用、生産資材の共同購入などを行う。この集落の基幹である酪農事業について農業経営の規模拡大と共同管理による経費等の削減をはかり、稲作十酪農の「複合経営」による自立経営をめざしている。



農業構造改善事業の一環としてはじめられた細尾ホップ園は現在緑のジャングルになっています。中在家では葉タバコが収穫されています。

行われています。計画区域の仮換地計画に着手

一方、市苗場山ろく開発室では、営農計画関連調査として、野菜収益比較調査研究(新大農学部酒井教授指導)、堆肥生産システム調査、野菜生産費調査などを行っています。

また、今年度からは場整備のための減水深測定、予定地内の換地計画にも着手しました。



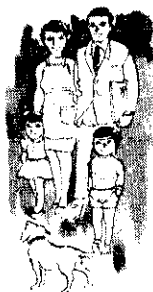
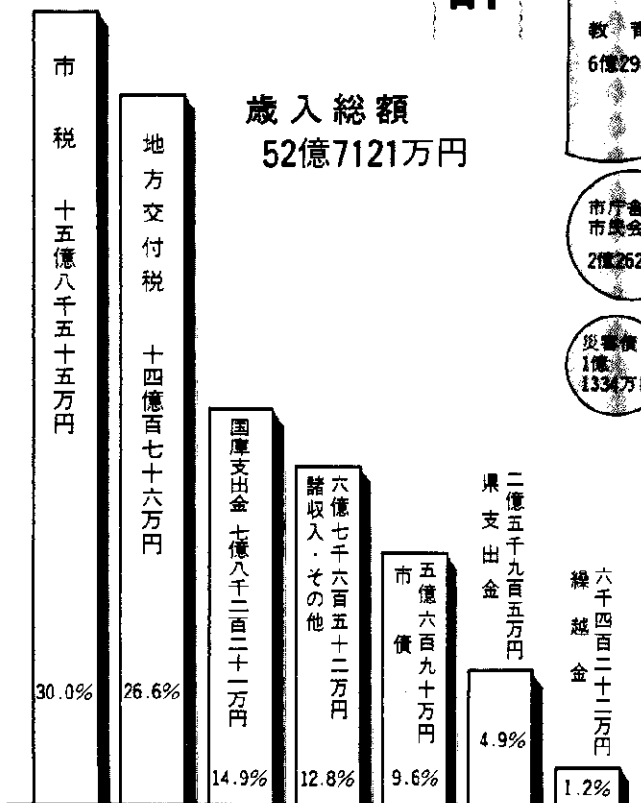


決算

歳入

一般会計

歳入総額
52億7121万円

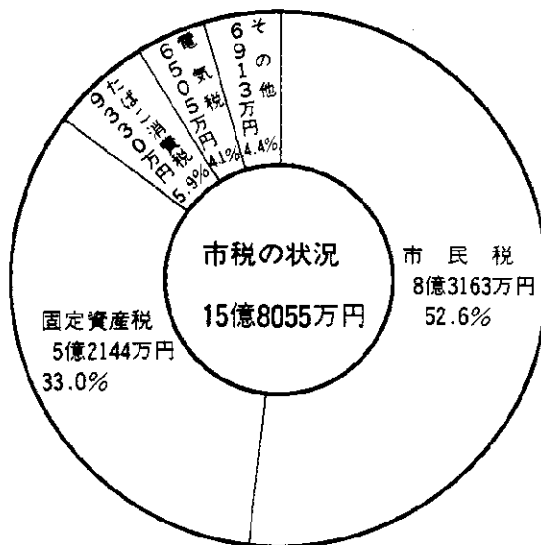
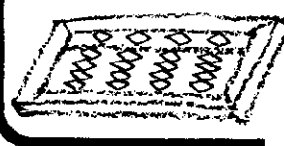


市債の状況

(25億783万円)



5万市民の家計簿



おもな歳出(人口は52,331現在で計算)



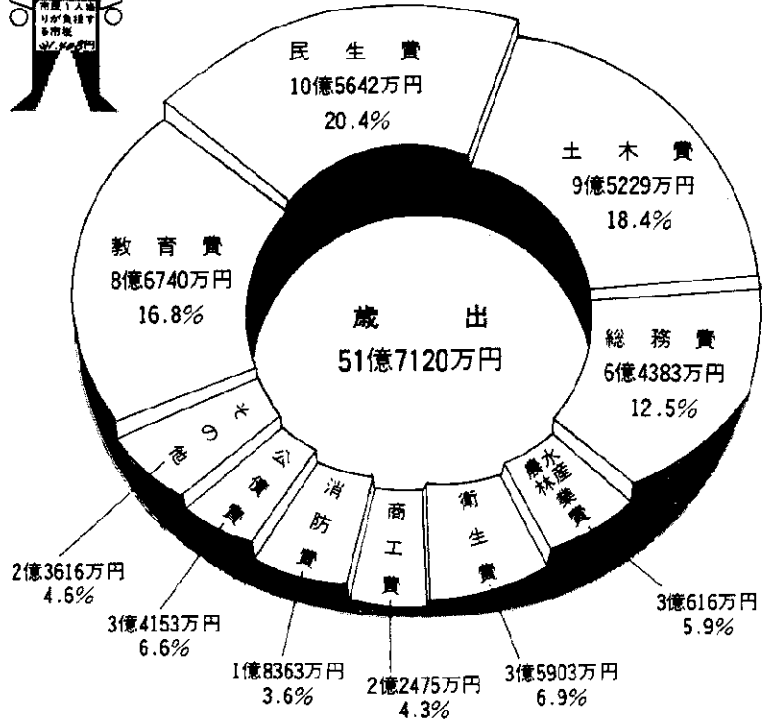
おもな使いみち

総務費	
交通安全施設整備事業	559万円
民生費	
老人ホーム養有増設改築工事負担金	74万円
精神薄弱者更正施設附帯工事負担金	252万円
敬老祝金	1011万円
老人医療費及び老人医療費助成事業	1億2935万円
衛生費	
妊産婦乳児医療費助成事業	1101万円
防疫薬剤購入補助金	271万円
農林水産費	
生鮮食品卸売市場施設事業補助金	600万円
農林水産開発事業補助金	865万円
土地改良事業補助金	1959万円
土地基盤整備事業補助金	1154万円
国土調査測量委託料	932万円
林道開設工事費	4070万円
商工費	
アーケード施設補助金	542万円
魚沼スカイライン建設負担金	557万円
土木費	
市道新設改良舗装工事	3億159万円
市道新設改良に伴う用地買収費	1億30万円
消雪パイプ布設工事	4299万円
除雪機械購入	3086万円
河川改修工事	535万円
四日町新田1号公園造成工事	588万円
公営住宅黒沢団地建設整備事業	3177万円
教育費	
小学校整備及び修繕工事	2315万円
馬場小学校プール建設工事	1700万円
西小学校プール建設工事	1969万円
南中学校増設改築工事	4141万円
水沢中学校グラウンド造成工事	2200万円
川治地区公民館建設事業	1億286万円
スポーツレクリエーション広場造成工事	2000万円
市民総合グラウンド造成工事	2000万円
吉田中学校名ヶ山分校火災復旧工事	3069万円
農林火災復旧工事	4148万円
土木災害復旧工事	1960万円



51年度

歳出



特別会計











会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	11億3712万円	10億1814万円	1億1898万円
直診療所	3246万円	3246万円	0
簡易水道	8661万円	7961万円	700万円
下水道事業	1億7520万円	1億7490万円	30万円
計	14億3139万円	13億511万円	1億2628万円

翌年度繰越額 1億1万円
(うち繰越事業646万円)



52年度目的別歳出予算

☆予算額 58億3774万円 ◇割合 100%
◎市民1人当り 116,000円(52.6.1現在の人口で計算)

	総務費 ☆6億 7648万円 ◇11.6% ◎13,000円		土木費 ☆9億 5549万円 ◇16.4% ◎19,000円
	民生費 ☆11億 9411万円 ◇20.5% ◎24,000円		消防費 ☆2億 734万円 ◇3.6% ◎4,000円
	衛生費 ☆3億 8147万円 ◇6.5% ◎8,000円		教育費 ☆12億 244万円 ◇20.6% ◎24,000円
	農林水産費 ☆3億 5845万円 ◇6.1% ◎7,000円		公債費 ☆3億 6177万円 ◇6.2% ◎7,000円
	商工費 ☆2億 6417万円 ◇4.5% ◎5,000円		その他 ☆2億 3602万円 ◇4.0% ◎5,000円

特別会計

会計名	予算	歳入	歳出	差引
国民健康保険	11億 5377万円	3億 3960万円	9657万円	2億 4302万円
簡易水道	1億 6052万円	648万円	112万円	536万円
直営診療所	3508万円	139万円	385万円	△ 245万円
下水道事業	3億 1621万円	4904万円	1968万円	2936万円

52年度6月末予算及び執行状況

一般会計

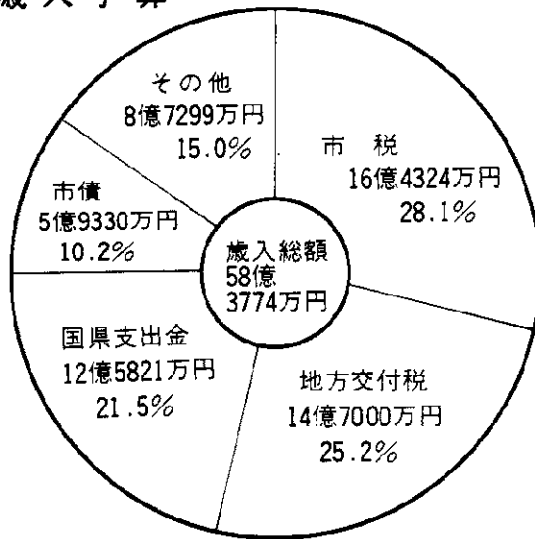
当初予算 57億9600万円

6月末予算 58億3774万円

収入済額 14億966万円(収入率 24.2%)

支出済額 11億6378万円(執行率 19.9%)

歳入予算



財政用語メモ

五十一年度決算

昭和五十一年四月一日から五十二年三月三十一日までの歳入歳出予算の執行の結果、実績を表示した計算表のこと。

市債

市債とは、財政の不足を補いもしくは特定の用途にあてる目的で、市の信用において大蔵省郵政省、市中銀行等から資金を借り入れることによつて生ずる債務をいう。

一般会計

市町村等の基本的な行政運営を中心とする会計である。これに対して、特定の事業を行う場合にその収入、支出を独立させる必要がある場合は、条例によつて特別会計として経理することがある。

地方交付税

国税である所得税、法人税、酒税のうちの一定の額を、地方財政の発展の爲めに市町村等に配分するものをいふ。行政上必要なものには用途に制限なく使用できるものである。この地方交付税には、普通交付税と特別交付税があり、額の計算は、地方交付税法や省令で細部にわたつて定められている。

組合債の状況(総額2億5750万円)

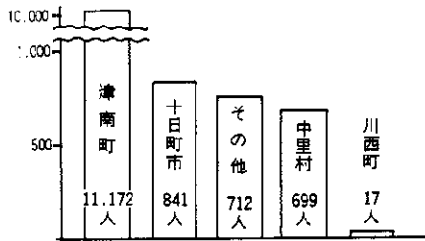
消防庁倉庫 1億30万円 39.0%	消防局保 センター 3740万円 14.5%	と畜場 7580万円 29.8%
大蔵省 1億1980万円 46.5%	郵政省 7830万円 30.4%	共済組合 5940万円 23.1%

特別会計

(単位万円)

会計名	歳入	歳出	差引
総合福祉センター	1458	1338	120
と畜場事業	5652	5319	333
計	7110	6657	453

総合福祉センター利用状況



52年6月末の予算及び執行の状況

一般会計

当初予算	4億552万円
6月末予算	4億552万円
収入済額	9912万円(収入率24%)
支出済額	8999万円(執行率22%)

特別会計

(単位万円)

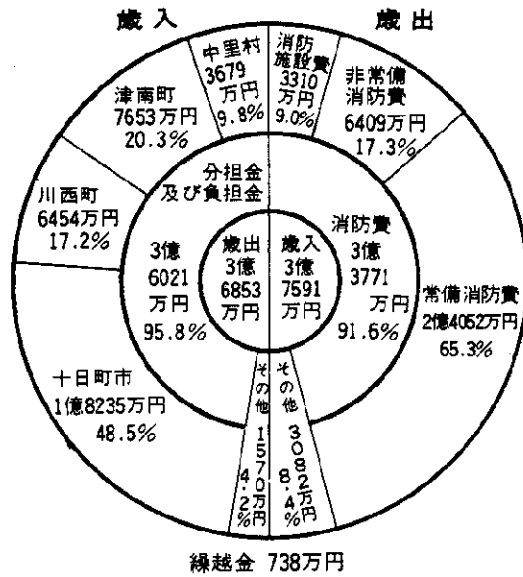
会計名	当初予算	収入	支出
総合福祉センター	1211	495	153
と畜場事業	1737	404	242

前項に引き続き、一部事務組合結成である。十日町地域広域事務組合と十日町市・川西町衛生施設組合の財政準備を先知りとしていく。

十日町地域広域事務組合は、十日町市・川西町・津南町・中里村が資金を出しあって運営している組合で、消防、と畜場、総合福祉センターの各事業を行なっています。

十日町市、川西町衛生施設組合とは、十日町市と川西町が共同で、し尿処理、火葬場の運営、度々管理を行っている組合で、松代町の委託処理もしています。

51年度決算



一般会計

十日町地域広域事務組合

私たちのくらしをまもる……

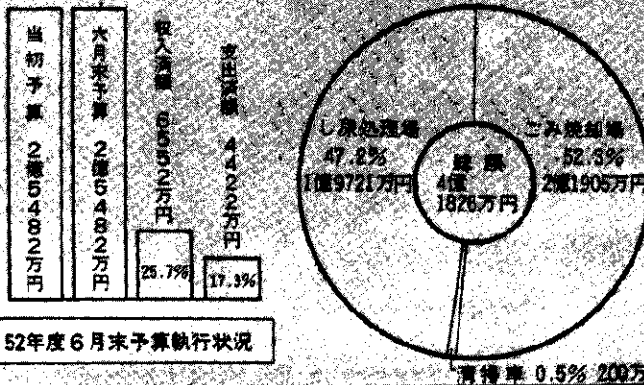
一部事務組合の家計簿

51年度決算

歳出総額 4億428万円 100%	歳入総額 4億1962万円 100%
一般管理費 25.8% 1億439万円	分担金及び負担金 52.3% 2億1929万円 十日町市 1億9074万円 川西町 2601万円 松代町 254万円
塵芥処理費 12.7% 5146万円	国庫補助金 8.0% 3350万円
し尿処理費 6.5% 2623万円	組合債 36.5% 1億5320万円
し尿処理場建設費 45.1% 1億8211万円	その他 3.7% 153万円
公債費 9.4% 3604万円	
その他 0.5% 205万円	

十日町市・川西町衛生施設組合

組合債の状況



まごもよの源流をたずねて

越後ちぢみののできるまで

① 苧麻—カラムシともいい、ちぢみの原料となった繊維植物。



② 苧ひき—カラムシの表皮を削って繊維(青苧)をとりだす。



③ 糸調べ—糸をよくわけて、もつれをなおす。



◆ 代表的な植物染料の藍



⑦ 紺の墨付と紺くびり—紺の紋様を染めるために、糸に印をつけ、その部分をくくる。

十日町は雪ときもの街として全国に知られたっている。深い雪に閉じこめられた、永い冬の生活。人びとは雪を恐れ、雪と闘う暮らしのなかで、ひっそりと糸をつむぎ、機を織りながら春の訪れを待った。十日町織物の源流は、千二百年も昔の飛鳥、天平時代にまで、さかのぼるといわれている。この長い伝統のもとに、江戸から明治にかけて生産されていた麻織物——「越後ちぢみ」は全国的にその名が知られたり、十日町織物の大きな礎となった。

⑩ 機(こしら)い(おき通し)—オサの目にタテ糸を一本づつ通す。



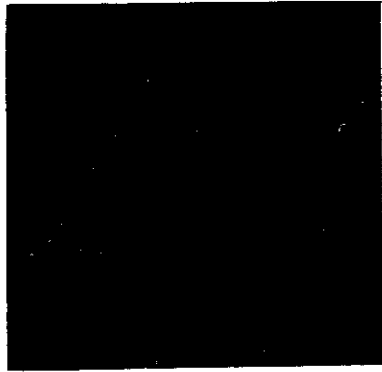
■ 参考文献

「越能山郡登」
「越後縮の工程」
「工藝技術」

■ 構成

立報協力員 鈴木 蘭

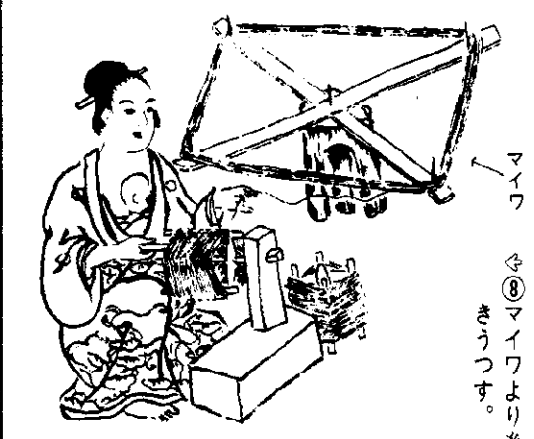
④ 燃りかけ—テシ
口とツムジでツ
ムをすって回転
させ糸に燃りを
かける。



⑤ 手かせにかける—手か
せに燃った糸をかけ、
糸の本数を数える。

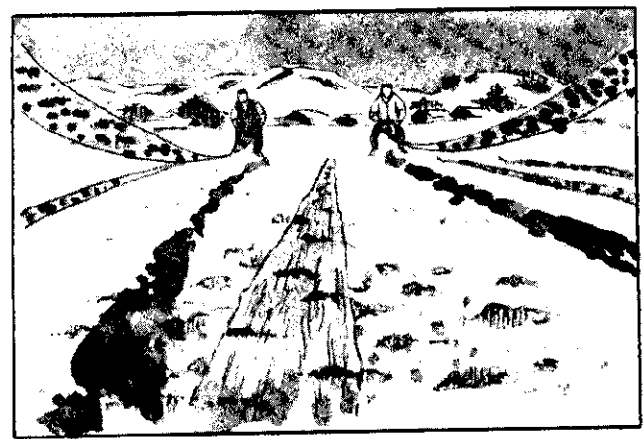
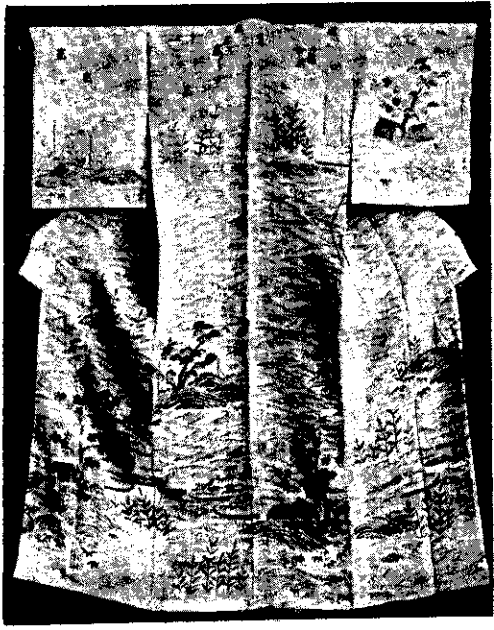


③ 芋績み—青芋を少量づつ口
にくわえ、唾液に湿しつつ爪
または指先で繊維をさ
または指先で繊維をさ
き、これをつない
で原料の糸を
つくる。



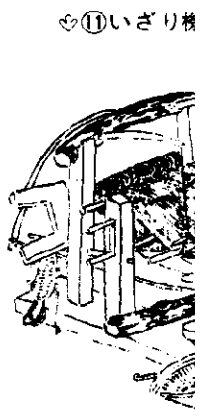
マイワ
⑧ マイワより米杵に巻
きうつす。

⑨ 経台へたにかける—1反
に必要な糸をきめる。



⑫ 雪ざらし—織り上ったちぢみを
雪の上にさらして仕上げる。

⑬ 仕立て上ったちぢみ—江戸時
代には武家の式服として着用
されるなど、名声を高め当
地方の重要産業となった。



⑪ いざり機

急ピッチに進められる

上水道第三期拡張工事

本市の上水道事業は、昭和三十一年にはじめて計画され、三十四年から二千世帯に給水開始その後、給水戸数と給水量の増

加を目ざして、四十年第一期拡張事業を、さらに四十一年度から四十五年度にかけて第二期拡張事業を行って来ました。

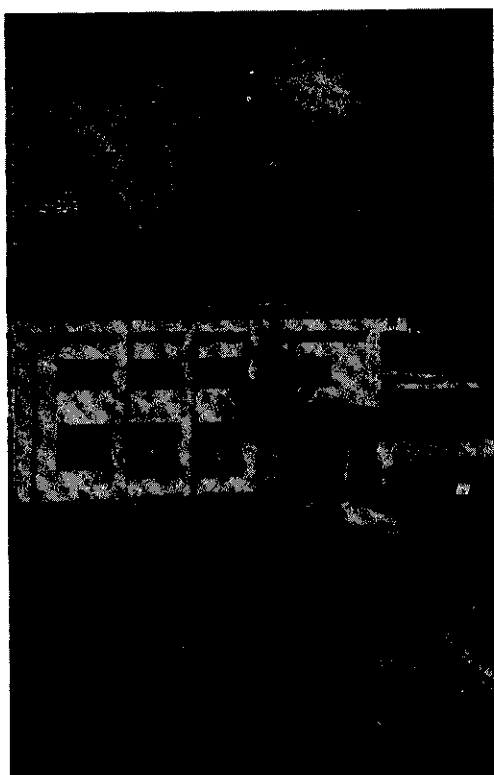
しかし、この間、地場産業である絹織物の生産も順調に伸び、また、最近の核家族化現象による世帯数の増加と、山間へき地から市街地への移住などによって、上水道区域の人口増加、生

猛暑で水道の使用量はうなぎのほり

水は、私たちが生活して行くためには欠くことのできない大切な資源です。しかし、この水も無尽蔵に得られるものではありません。

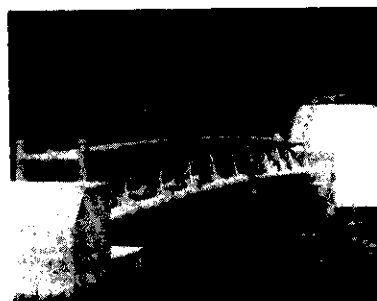
また、特に夏場は隣の家から流れ出る汚水等が気になり、市にも家庭の下水に関する苦情が増えています。

市では、現在「じゃ口からはたっぷり出る水、使い終われば下水管で清潔に処理」を目ざした環境衛生面での二つの大きな事業を進めています。



上水道の基地—第1水源池

から下水道へ



五軒新田地区内に新設された送水館活水準の向上により使用水量が大幅に増加しました。

このため現状では、夏期はもちろんのこと冬期の一日の最大給水量が計画一日最大給水量を超え、一部の地域で水不足のおそれが生じています。

昭和六十年には現在の二倍の取水量

市水道課は、こうした使用水量の増加と水不足の現状に対処するため、昨年から第三期拡張事業を進めています。

この事業は、昭和六十年を目標にした十カ年計画で、総事業費約十六億一千四百万円を投じて新水源池四ヶ所、配水池二ヶ所の増設などにより、昭和六十年には、一日の取水量を現在の二倍の三万二千立方メートルにする計画です。

第一年度の五十一年度には、市民プール西側に第六水源池新設と第一水源池の西側に着水池

清津川多目的ダムに依存して確保を図る必要があります。

地質調査進む清津川ダム

北陸地方建設局直轄調査の清津川ダムは、昨年より地質基礎の本格的調査に入っています。ダムの高さ150m、総貯水量1億6000万㎡、県内最大、最大規模の多目的ダムとして構想されています。

本年の調査はトンネル掘削、ボーリング調査、弾性波試験が拡大実施され、流量測定、環境調査など水没関係基礎調査も行なっています。

この清津川ダムは、巨大なダムのため特別慎重な調査が予定されており、着工までには数年の継続調査が必要とされています。

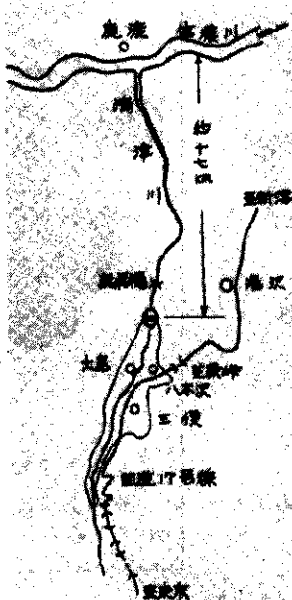
市では、苗場山麓開発室を中心として現在ダムからの導水方法と調整ダムの位置について検討を進めています。

60年の水需要量は

48年に発表した将来の水需要量について新たにプロジェクトチームを編成して総合的な再検討を行ってまいりましたが、このほど見直し想定がまとまりました。この見直しによると、下水道や冷暖房の普及に伴い、これからの生活用水は急激に増加し、1人1日400から850ℓ平均730ℓが必要と見込んでいます。また、農業用水、工業用水、娯楽用水については、60年における市内の年間総需要量は2億4000万㎡に達すると想定しました。

こうした全体必要水量に対して、その水源からみると河川依存で53%、地下水に依存で11%は確保できますが、残る36%、8400万㎡は市内に調査水源が考えられません。

将来十日町市の水資源は心配ないといえるように調達するには、建設省が調査を進めている



関浅地区に簡易水道を新設

市では、ことし関根、浅ノ平両部落に簡易水道を布設するた

め、現在工事を進めています。この地域では、ほとんどの家が井戸水や清水を使っていますが、簡易水道が完成することにより、安心してきれいな水を

都市の魅力の一つに下水道が完備され、水洗トイレで快適な毎日を送ることがありますが、わたしたちの十日町市でも、下水道整備を進めているということですが、現在どうしているのでしょうか。——市民より

公共下水道は、河川の汚濁防止、環境衛生の向上、し尿処理の合理化など公害を防ぐと同時に、きれいな街づくり建設の大きな柱となります。

市では、昭和49年から公共下水道の建設計画を進めてきましたが、昨年からは本格的に下水管埋設工事に入りました。

今年度は、管渠事業費1億1千万円で、去る6月から本町6丁目、稲荷町3丁目地内の道路に管径250から800ミリメートルの管渠の布設を進めています。

また、この事業の要となる終末処理場の建設についてはすでに用地買収を終え、現在事業費9500万円で、管径900ミリメートルの流入渠埋設工事を下川原地内で行っています。さらに、この処理場の実施設計の一部を日本下水道事業団に委託し、昭和54年度着工を目標に計画を進めています。

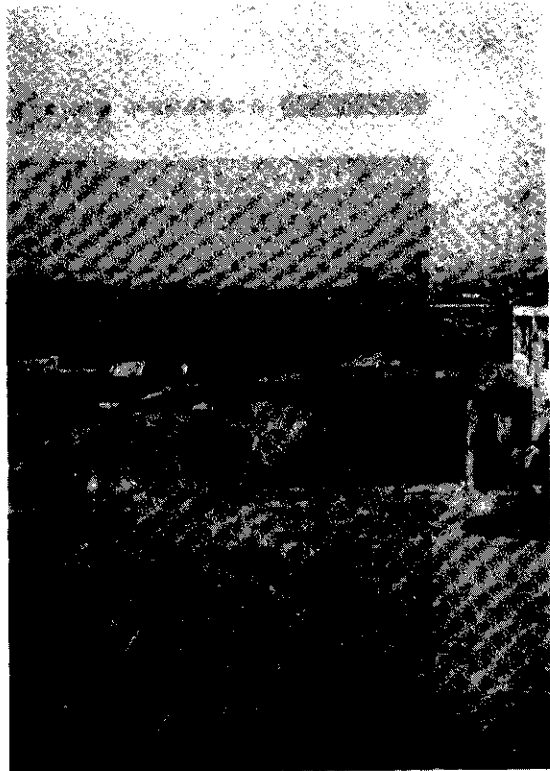
下水道は、多額の建設費と長い年月を要しますが、快適な市民生活をめざして積極的に進めていきたいと思えます。

下水管布設工事にご理解とご協力を！

下水管を、道路に布設するため、布設道路に面した住民とは工事の内容説明や各種の問題点について事前に話し合いを行いました。特に布設期間中は交通止めになります。また、現在布設されている水道管等地下埋設物の移設をしなければならない場合があります。市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。



市街地全域に整備をめざす下水道事業



上水道

使うことができます。

水源の確保は昨年度完了し、今年度は去る七月中旬に七千七百四十万円で本工事に着手。

十二月末には八十二戸（計画給水人口四百一十名、消火栓七基）に給水を開始する予定です。

水がムダに使われていませんか。

上水道は、第三期拡張事業が終了し、新規水源より通水がこなされるまでは、使用水量は季節によっては十分とは言えません。



そこで、その季節での節水にご協力をおねがいします。

一般に、水の消費量は文化のバロメーターとも言われ、生活水準が高くなるにつれて多くなります。たとえば、歯をみがく時の水道の流しっ放しがあります。

す。

日本人の約九割は「むし歯」所有者といわれ、「二日三回、食後三分以内に三分間みがきましよう」というスローガンがあるくらい、歯みがきが盛んなことはよいことですが、その歯みがきの三分間、水道のじゃ口を開きっ放しという人が多いようです。

たった三分と思えますが、これが朝晩二回ともなれば非常に多くの飲料水が何んの役にも立たないまま、ムダに流される、こととなります。（一分間にじゃ口全開の場合約二十リットルの水が出ます）みんなムダの水を流さないよう注意しましょう。

お宅の水道は漏水していませんか。

漏水に気づかず、水道料金が何倍にもなってしまう例が時々あります。漏水の発見の方法は「じゃ口を全部止めて、メーター器を見ます」その時、メーターが回っていれば、まず、漏水と申してください。こんな時は、水道工事店に連絡してすぐに修理をしてください。放置しておきますとだん／＼大きくなり、料金もかさむばかりです。一度たしかめてみてください。

水道の施設は、メーターまでが市の管理で、メーターからは、あなたの財産であり、あなたの責任となります。どうぞよい管理をしてください。

わたくしたちと健康づくりを…

張り切る体育指導委員



△さわやかな朝の空気を吸いながら準備体操
——「おはようサイクリング」の仲間たち。

日頃、とかく運動不足が
ちになつてゐるわたくした
ち。
市では、今年度二十名の
体育指導委員を委嘱し、市
民の健康と体力の増進、明
るい地域、仲間づくりをめ
ざした体育教室などを開催
しています。
あなたも自分にあつた運
動をみつけ、この夏をのり
きることにも、健康な毎日
を過ごしましょう。



△体育指導委員を先頭に
「さあ、出発だ!!」



△アーチェリーの手ほどきを受けるお庄さん方
——市民体育館での「婦人体育教室」



△弓を引く手にも力がこもる

正しい食事で貧血の防止

このシーズンは日射病や貧血で倒れる人が多く、30~40代の主婦などを中心にして座って仕事をしがちな人に多くなっています。

特に市では、妊娠期の女性の貧血が多く、10人のうち6人もの人が貧血症状を訴えています。

貧血は、血液中の赤血球の減少又は血色素の減少をいい、貧血の中で最も多いのが鉄欠乏性貧血です。正しい食事で貧血を防ぎ健康な毎日を過ごしましょう。

~なぜ貧血になるのか。

- 出血(出産・胃かいようなど)で体内の鉄の損失が多い。
- 胃酸の分泌が少ない。
- 食事の状態が悪い。
- 鉄、たん白質、ビタミンなど血液を造る成分の不足。

~貧血を予防するために

- ◇緑黄色野菜、海そう、果物を十分に食べましょう。
- ◇食事のバランスを考えましょう。
- ◇動物性食品を十分に食べましょう。
- ◇偏食、むじな減食、不規則な食事はやめましょう。

今日のお夕飯にどうぞ

ニラのそぼろわん

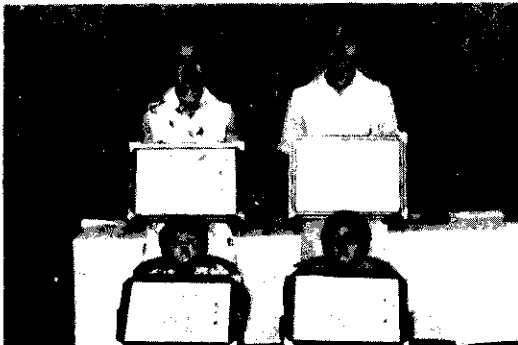
片栗粉 大きじ 1.5杯

■材料(4人分)

- ニラ 150g
- 豚ひき肉 100g
- しょう油 小さじ 1.5杯
- しょうがみじん切 小さじ 1杯
- 出し汁(水) 600cc (3C)
- 塩 小さじ 1杯
- しょう油 大きじ 1杯

■調理法

- ①ひき肉に生姜みじん切、しょう油をからめておく。
- ②ニラは3cm位に切る。
- ③鍋に分量の湯(出し汁)を煮立たせ、ひき肉とニラを入れ再び煮立ったら水どき片栗粉でとろみをつける。



左・村山ミヨ子さん・正子ちゃん(新座) 右・小川厚子さん・朋子ちゃん(尾崎)

虫歯のない母子を表彰

市では去る8月2日、母子ともに虫歯のなかった2組の方を表彰しました。昨年3歳児検診を受けた子供とそのお母さんについて調べたところ、母子ともに虫歯のない人は、わずか2組でした。お母さん方に話をうかがってみました。やはり歯をきちんとみがくことと、おやつ等を食べた後、口の中をゆすぐ習慣をつけるのが大切なようです。



▽パレールプール、母親の本田ゆかりさん。子育ての悩みを相談している。



▽「こうするとうまくパスがきまら」 中条小学校での「婦人体育教室」

▽月1回行われる体育指導委員会議



早朝マラソンで健康づくり

下条地区(本町・為永)の町内会では、毎朝5時半からマラソンで健康づくり。下条本町から為永の往復1.5km位を走り続けてもう4ヵ月。おかげで太りきみのお母さん、運動不足のお父さんもだいぶ調子が良いと好評。

市民プールからお知らせ

市民プールは、平日は午後八時まで、日曜日は午後七時まで開場していますが、つぎの期間については特別に午後五時で閉場します。
8月13日~16日・25日~27日



さあ 思いきり夏を楽しもう

“立秋は過ぎた”といってもまだまだ日中の暑さは続きます。寝過ぎても休み過ぎても疲労はかえって増すものです。7月末から一斉に始まった学校の夏休みも後半に入りました。1ヵ月以上もある長い休みはなぜあるのでしょうか。それは、暑くて学級という集団の中できまりに従って勉強することが不都合だからです。夏休みにしかできないことをひとつでもいいからみつけ、自分の考えた方法で、何かをやりとげることができたらすばらしいことだと思います。お父さん、お母さんにアイデアを出してもらってもよいでしょう。そして親と子が同じ立場に立って物事を考え、話し合い、心のふれあいを深めるとともに子供の自立心を伸ばすのに絶好の機会です。大いに親子の会話を増やしましょう。

規則正しい生活で 楽しい夏休み

夏休みは、子どもたちにとっても、からだをきたえる絶好の機会です。水泳やキャンプ、山登り、野球など友達同志、家族そろってできるスポーツもたくさんあります。でも、毎日のくらしの中で規則正しく生活して行くことも大切なことの一つです。

夏休みは長いのだ、と思ってしまう間にもう半分が過ぎてしまいました。いつまでもだらだらと過ごしてしまうと、せっかくの夏休みもつまらなく終わってしまいます。二学期に入ってからについて行けなくなってしまう。

この辺で前半の計画や時間表を見直して、残された夏休みをどのように過ごしたらよいか考えてみましょう。朝は何時に起きることになって、夜は何時に寝ることになっていたでしょうか。そして勉強はいつやる計画になっていたでしょうか。遊びの計画が進み過ぎて勉強の方がおろそかになってはいませんか。そろそろ二期に備え、早寝早起きなど、リハールをしてみてください。

花火に 注意を!

夏は夕涼みと並んで花火のシーズンです。この季節になると花火の消費料が増加するとともに、花火の不始末による出火も



- 小さなことに注意して毎日をだらだらと過ぎない。
- 夜ふかしをしない。
- 暴飲暴食をつつしむ。
- 手洗い、うがいを実行する。
- なま水、なま物はさける。
- 食事は栄養のバランスを考えてとる。

多くなります。

花火は火薬を使っているのだから、決められたやり方、決められた遊び方をすることが大切です。

花火の入っている箱や袋、あるいは筒などに書いてある注意事項をよく読んで、特につきのことを守って楽しく遊びましょう。

- 花火を人や建物に向けたりしない。
- 燃えやすい物のある所や狭い所ではやらない。
- 必ずおとなの人についてもらう。
- 風の強い日はやらない。
- バケツ等に水を用意してからやる。
- 一度にたくさん花火に火をつけない。

- 吹出し、打ち上げ花火は、火が消えたとおもっても上からのぞいたりしない。
- 花火をほくして遊ぶことは絶対にしない。
- 花火はポケットに入れない。

(ころんなどはずみに発火したら大変です)

十日町は
はじめてです

市内の小中学校には、400人位の先生がいます。これらの先生の中には今年始めて、先生になられた人や、市外からはじめて十日町に赴任された人などがいます。十日町がはじめての先生にちよつぱり印象をたずねてみました。

小野塚実先生

(十日町小学校)
教員生活二十年、命までには北魚、刈羽の生徒たちを見てきました。十日町の子どもは、他の子どもと比べて純朴、清楚という言葉がぴったりです。おとなしい、というのではなく、素直な心を持ち続けてもらいたいものです。

中島千鶴子先生

(下条中学校)
私の家がある六日町とは山ひとつ隔てたこの十日町、山ひとつの遠くに驚いています。ことばについて考えてみても違いがあります。十日町では「ころん」や「やん」など柔らかく優雅に感じられます。その柔らかなさがそのまま市民の気質につながっているのではないのでしょうか。

大山 誠先生

(第二小松木分校)
この四月、新潟より赴任いたしました。当座の環境にもとづく子どもたちの自然観は、町のそれとは少し違うように思います。子どもたちの考え方や自分の考え方をぶつけあひながら、これからの山での生活について共に考えて行きたいと思っています。

楽しかった夏期訓練

市内のあちこちの小中学校では、夏期訓練が実施されました。体力づくりを目的に、普段の学習の場である教室や体育館を、海や山に移して行われるもので、子どもたちにとっては楽しみにしている学校行事のひとつです。



すてきだった遠くのハイマツ



お花畑を歩く水中の一行

3時間半から4時間かかるところ、2時間50分位で登頂に成功。雨あがりの山頂、遠くのハイマツをながめながら食べたおにぎりの味は格別でした。

水沢中学校(二年生)では、恒例の苗場登山に挑戦。待ちに待った7月20日は、残念な事に雨のため計画を変更し屋敷温泉に一泊。でも翌日は快晴に恵まれ、希望者だけが登山することになりました。早朝5時半登山開始。普通なら



ラジオ体操

みんな元気に1.2.3.

夏休みが始まると同時に、全国各地で夏の巡回「ラジオ体操」が行なわれています。市内でも、この全国放送を利用して「ラジオ体操」を行っている町内が何か所かあるようです。

毎朝6時30分になると、公園やあき地を利用した会場からラジオ体操開始の音楽が流れてきます。まだ眠そうな目をこすりながら集まった子どもたちはすがすがしい空気を胸いっぱい吸って、元気よく体操を行っています。体操終了後の気分は何とも言えぬさわやかさです。

さあ、みなさんも早起きをして会場に出てみましょう。そして、健康なからだで、毎日を元気ハツラツと過しましょう。

“緑の学園”で

キャンプ……

南中学校の2年生160名は、7月23日から25日奥只見「緑の学園」でキャンプを実施しました。標高1242mの険しい丸山を、汗と忍耐で越えてからキャンプ入り。2泊3日のなかには、地下発電所や電力館の見学、銀山湖の遊覧等の社会科学習がありました。

また夜はシトリ歌合戦、合唱コンクール、拍手で集まれ等、生徒の企画による楽しいゲームも行われました。

ちよつと一休み



本間久子先生

(水沢小学校)

児童は、素朴でおもいやりがあり、いいなあと思います。しかし、もう少し新しいことに対して興味や関心が旺盛になってほしいと思います。そして、道ばたの小きな草花にも目をとめる心情をもってほしいものです。

羽田清先生

(中条小学校)

霧と湿気が多い町、そして各戸に響く織機の音から婦人の活動力を感じました。子どもの体格はあまりよくないようですが、素直さは備わっていると思います。地域の人々が、学校教育に対して協力的だと思っています。

市川正先生

(六箇小塩之又分校)

僻地の学校に勤務して第一に感じたことは、子どもたちの動きの中に地域性が完全に生きていないことです。私は、子どもたちの生活から得られる直接経験を、身につけることのできる学習にして行きたいと思っています。

長谷川和子先生

(中条中学校)

まず水のおいしいのにびっくりしました。聞いてみると、伏流水を取っているとのことでした。そして、学校で廃品回収を行った時のことでした。赤や青に染まった新聞紙がたくさん出たのを見て、さすが織物の町だと思いました。

斉藤頼繁先生

(飛一三ツ山分校)

私は今、初めて十日町を訪れた日のことを考えています。児童四名の学校とはどんな学校なのだろうか、という不安と期待が入り混じっていました。しかし、暖かな地域の人に囲まれ今では本当に来てよかったと思っっています。



すすむ教育文化施設の整備

中条中学校を改築

低経済成長のなか、地方自治体の財政ひっばくは以前として続いています。わたくしたちの市でも、多分にもれず苦しい台所事情となっております。

そこで市では、一般経営費を極力抑制しながら、教育、民生、土木費等の建設的投資の充実に力を入れていきます。

特に教育費関係で現在進めている市の事業の主なものをとりあげてみました。



市立中条中学校（野村義平校長、生徒数二百九十一人）は、昭和二十二、二十三年に建設されたもので、老朽化が著しいため、このほど校舎の改築を行うことになりました。

元気に泳ぐ東小の児童

東小学校に待望のプールがこのほど完成。幅13m長さ25mのこのプールは約2500万円の工費で、水泳シーズンに間に合うよう急いで工事を進めていたもの。

連日の暑さの中、楽しい水しぶきがグラウンドにひびいている。

着工	昭和52年7月18日
竣工予定	昭和52年12月
構造	鉄筋コンクリート2階建
建築面積	349.42㎡
延面積	709.6㎡

- 【1階】 事務室・図書室兼談話室・集会室（和室）・工作室・機械室
- 【2階】 講堂・学習室・調理実習室・小集会室（和室）

中条、川治地区公民館に続いて計画された下条地区公民館は、去る七月十八日に着工。五十三年一月開館をめざして急ピッチ

新年開館をめざす

下条地区公民館

に工事が進められています。総工費は八千二百万円、鉄筋コンクリート二階建て、玄関ポーチが二階まで吹きぬけのモダンな建物となります。

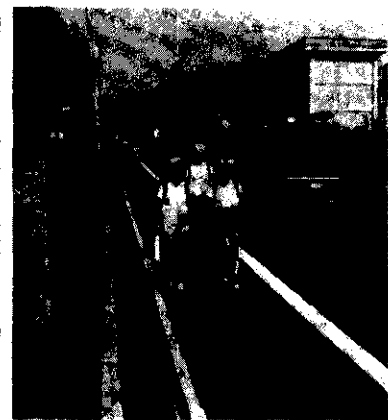
老人いこいの家を兼ねた施設

下条地区公民館は、地域住民の生涯教育の場として公民館機能を中心とした施設ですが、同時におとしよりははじめとして、地域の人たちの集いの場として活用していただくため、浴室や日本間などを配置してあります。

一階には、公民館事務室、図書室兼談話室、四十五帖の広

れたもので、老朽化が著しいため、このほど校舎の改築を行うことになりました。工事は、今年度と来年度の二カ年継続事業として、総工費一億一千七百四十万円で普通教室（保健室（1）図書室（1）などを備えた鉄筋コンクリート三階建ての校舎を、五十三年七月末頃に完成させる予定となっております。

建設場所は、現在の校舎の裏を中心としているため生徒の勉強にはほとんど支障がありませんが、五十三年の新学期には、普通教室二と保健室一を使用でき



カラー舗装の通学路

東小前の市道四日町新田岡入線は、きれいに舗装されて完了。この道路は、特に東小の児童の大事な通学路となっているため、歩道部分なを子ヨコレートにするなど除雪や交通安全に工夫をこらしたものです。



間、浴室、焼物や木工、美術などができる工作室。二階には、学級、講座、講習などの学習や会議ができる講堂と学習室、調理実習室、お茶や活花などに利用できる十五帖の和室などがあります。このほか、屋上も民踊やレクリエーションなどにも利用できます。

明るい農村めざして…

地域づくりのセンター 飛渡地区公民館

飛渡地区は、地域が点在しているため分館活動を重点に事業をすすめています。

地区館は、克雷管理センターに併設され地域のみなさんの学習やグループ活動に地域のセンターとして活用されています。

す。活
動の中
からい
くつか
を紹介
します。



講師の話しに耳を傾ける 枯木又婦人学級

この他に婦人のための講座では活花や習字、民謡などがあります。地元へ伝えられているおどりや唄を次代に伝えて行こうと、地元の伝承者を講師に郷土民謡講座を月三回開いています。「はねおけさ」「あわせおけさ」など、歌ったり、おどったり楽しく習ってお

枯木又婦人学級では、自分達で枯木又を調べる学習をしています。専門家の話を聞いて知識を深めながら、おとしよりに聞いてそれをまとめる。書くことは容易ではありませんが、自分達で力を合わせてやることに、楽しみややりがいを見いだしています。

この他には、成人男子対象で、稲作を一生懸命やっている人達の集まりで、稲作りを通して、これからの農業を見なおそうと学習をしています。



のびのびと郷土民謡講座

昨年「枯木又を調べる」の二冊を出しました。もうひとつの東部婦人学級では健康の問題と地域を見なおしてゆく学習をすすめています。

◇
◇
◇



なごやかに料理教室

命やっている人達の集まりで、稲作りを通して、これからの農業を見なおそうと学習をしています。この他に親子女文庫や冬期間には「わらぼし」「若芽」、またたびなどの婦人の文集活動もしています。

(波形)

本の寄贈ありがとう

つぎのみなさんから公民館に本の寄贈をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

(四月～七月二十日まで)

- 中沢サチ子(学校町) 高木国保(田川町三) 阿部達(若宮町) 清水屋旅館(昭和町三) 湯沢喜一(本町東一) 野上書店(駅通り) 佐藤とも子(本町六) 萱森姫さの(高田町一) 山内写真館(本町二) 根津ミサヲ(田川町三) 星野元一(下山) 南雲金一(田中町東) 磯幸雄(北新田) 越村英子(中条中町) 崎元真弓(田川町三) 大島芳邦(田中本通り) 内山仙吉(本町四) 関口奈々子(昭和町四) 児玉たか子(住吉町) 春日由三(小泉水落利枝(寿町) 関口ミツ(泉町) 立教大学博物館研究室、匿名六人。

市民大学講座

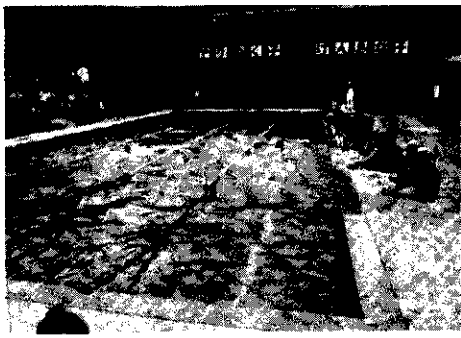
これでいいのか? …… こどもの教育

1	8月19日(金)	戦後教育の功罪を問う	国立社会教育研修所 主任 依谷正樹
2	8月24日(水)	地域社会に教育力はあるか	東京学芸大学 教授 小林文久
3	9月1日(木)	パネルディスカッション 父親の權威とは何か	前橋育英学院 短期大学教授 玉井成光 ほか
4	9月9日(金)	受験戦争はなくなるか	新潟大学教授 榊田久雄

■時間・夜7時～9時/■場所・十日町市公民館(本館)

*申し込み ①希望者は申込書で公民館本館または地区館に申し込んでください。②電話申し込みでもけっこうです。③お問い合わせは公民館本館(市内学校町7-5011)までお願いします。

十日町市公民館



八箇小にもプール完成

八箇小学校(佐藤正二校長)にも、このほど幅9m、長さ20mの簡易プールが完成。去る7月16日に喜びのプール開きが、行われた。この日は、南中水泳部の模範水泳を見学した後、努力奉仕など建設に汗を流した父兄の見まもる中、初泳ぎを楽しみました。

私のアイデア貯金箱

応募資格 小中学生
応募作品 新しく楽しいアイデアが生かされた貯金箱で、大きさは一辺の長さ二十五cm以内作品の適当な場所に氏名、所属学校名、学年を明記するか、適宜の用紙に記入してはること。
応募先 応募者は、原則として所属学校を通じ最寄りの郵便局に出品してください。
出品の締切り 九月十日。

十日町ロータリークラブが二十万円寄付

このほど十日町ロータリークラブは、公民館図書購入資金として市に二十万円を寄付しました。



給食メモ/米飯の量……中学生 130g・小学生高学年 100g・小学生低学年 90g (パン屋さんが米飯を炊く)

米飯給食

市内の小中学校では、学校教育の一環として完全給食化が進められてき、現在では、20カ校(分校を含む)で学校給食が実施されています。

これらの学校のうち、十日町小など14カ校については、パンによる給食ですが、文部省の指導などに合わせ2学期から週1回米飯給食を実施することになり、夏休み前の去る7月18日(月)に、十小・川治小・西小の3カ校で米飯給食の試行が行なわれました。

白いご飯にぎげん

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達と国民の食生活の改善に寄与することを目的として始められ、本市では昭和三十八年に初めて日大井田小、川治小、登島小の三カ校で完全給食が実施されました。

以来、父兄の要望等と合わせ、完全給食化を進めてき、現在では分校も含めて小中三十五カ校のうち二十カ校で実施されており、山間部の六カ校(パンを運べないため最初から米飯給食)を除いた十四カ校はパンを主食とした給食となっています。

二学期から週一回の米飯

しかし、最近の食生活や食糧事情の変化に伴い、文部省は、食事内容の多様化を図り、栄養に配慮した米飯の正しい食事の



いただきまーす。

あり方を身につけさせるなどの見地から、米飯を学校給食制度上に明確に位置づけることになりました。

九月実施に先立ち、去る七月十八日に行われた試行では、これまで赤飯などが数回あったとはいえ、「白いご飯」は初めてとあって、児童も緊張きみ。

この日のメニューは、子どもたちの大好物のカレーライスとあってか、みんなニコニコとフオークを進めました。

十日町小5年3組の児童に質問してみました。<37名>

<柳カズエ先生>

◎ご飯とパンの給食では、どちらがいいですか?

ご飯 35名・パン 2名

◎今朝の食事がパンの人は?

8名

◎1週間に米飯給食は、何回位がいいですか?

ほとんどの人が 1回

児童の意見

庭野 努くん

《米飯給食》すき

《わけ》べんとうみたいに食べられるから

徳永 和代さん

《米飯給食》すき

《わけ》コッペパンはキライ、コッペパンよりみじから。

関口 明美さん

《米飯給食》きらい

《わけ》朝と夜、米飯なんだから屋ぐらいパンでもよいと思うそれとパンがすきだから。

庭野 善広くん

《米飯給食》すき

《わけ》パンみたいにちぎらなくてすむし、たべやすいから

佐藤 洋子さん

《米飯給食》すき

《わけ》塩をかけて食べるとすごくおいしい。それとやわらかくておいしいからです。

順序よく並んで全て児童達が準備する

7月18日のメニュー

- ♣ カレーライス
- ♣ イカフライ
- ♣ 塩もみキャベツ
- ♣ 牛乳

給食当番

- 根津 宏 くん
- 井口 芳行 くん
- 池田 靖 くん
- 庭野 努 くん
- 根津 光昭 くん
- 島田 佐保 さん
- 滝沢 佳代子 さん

すすむ中核林業振興地域づくり

市は今年、全国で四十五カ所の一つとして十日町市中魚沼郡一戸を、「中核林業振興地域」の指定を受けました。

これは、将来地域全体の発展の中核的役割を担うと見込まれる林業地において、山林所有者と関係業者及び森林組合その他関連団体が一体となって、優良林業地づくりに努めるもので、国、県が当地域育成のため、諸施策を総合的、計画的に推進します。

このことよって市内の山林の内、二百ヘクタール以上の地区を一つの単位として、その内

むこう五ヶ年間に三十パーセント以上の面積に植林や育林または伐採が行われる地区を、県が「総合施業団地」として認めます。なお「総合施業団地」として認められるのは、市内全体山林の内五十パーセントの面積と

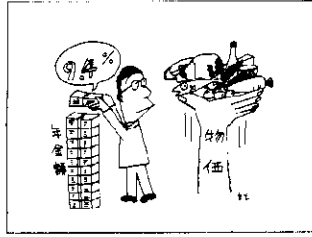
をまず、中心的に林業振興をはかります。そこで総合施業団地内の「森林施業計画」を樹立するために、森林組合では関係山林所有者全員から、樹立について同意をいただくこととなりますので、該当者には後日森林組合よりお願いいたします。

一定面積以上山林を所有している方の、林業についての意向等を知るために、「林家カード」調査を近目中に市役所からお願ひしますのでご協力ください。市内の山林は、市総面積の五十六パーセントを占めており、杉林などの人工林はわずかに二十パーセントにすぎず、また既に人工林となつてゐる所では粗放な状態が多々あります。これは、山林労働が過酷で収益までに長期間かかること、所有地が分散していることや、林道の不足等が原因してまいりました。

拠出制国民年金

年金額は9.4%アップ

国民年金は、毎年改善が行われてきましたが、ことしも国民年金法が改正され、7月から拠出制の老齢、障害、母子、準母子、遺児、寡婦などの年金額が9.4%増額されました。



これは、昭和51年度の物価上昇による目減りを補充するためのもので、年金額の引き上げ時期も、昨年より2ヵ月早い7月から実施されました。

また、年金額の引上げに伴って、保険料額は、昭和53年4月から2,730円になります。

この額は、昨年の法改正で昭和53年4月から予定されていた月2,500円に、物価スライド分の9.4%がプラスされた額です。

一方、福祉年金（老齢や障害、母子、準母子）についても、物価上昇率9.4%を上まわる改善が図られました。年金額の引き上げ時期は、昨年より2ヵ月早く8月から実施されますので、9月の支払い期には、増額された年金がさっそく受け取れます。

それから、これまで福祉年金の支払い期は、1月、5月、9月の年3回でしたが、52年10月からは4月、8月、12月に変更され、今後はお盆と暮れに年金が間に合うこととなります。また、暮れの12月支払い期だけは、希望すれば11月に年金を受け取れるようになりました。

いします。

しかし、ご承知のように近年市内各地で森林組合による植林下刈、除間伐、作業路開設が盛んに行われています。これは従来の皆さんの不都合をできるだけ軽減できるようにしたからです。今後、中核林業振興地域として優良林づくりのために、皆さんから一層のご理解ご協力をお願いいたします。

火災の際の電話問合せについてお願い

火災が発生すると消防署では火災現場及び、水道水源地市役所、警察署等関係機関ならびに消防団幹部への連絡、非番の消防署員の召集等、緊急に電話連絡をしなければなりません。

しかし、最近一般の方からの問合せが非常に多く、電話回線がふさがりうえ、手不足のため必要な連絡ができず、消火活動にも障害を生じています。

消火活動関係者、報道関係者以外の方の消防署への問合せは、できるだけご遠慮ください。

中学校卒業程度認定試験
— 受験案内 —
この認定試験に、病弱、虚弱、発育不完全その他やむをえない事由のために、義務教育諸学校

税金課

税務課は、四つの係で、次のように仕事を分担しています。

- 管理徴収係
 - ①市税および国民健康保険料の徴収（納税組合、口座振替え、市税の減免などを含む）
 - ②軽自動車税および木材引取税の課税
 - ③納税または所得等の証明
 - 市民税係
 - ①市民税（個人の県民税を含む）の課税
 - 固定資産税係
 - ①固定資産税、都市計画税おと

に就学することができず、就学を猶予又は免除された者等に対し、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験で、認定試験に合格した者は、高等学校の入学資格が与えられます。

受験資格
昭和五十三年三月三十一日までに満十五歳以上になるもので次のいずれかに該当する者。
■現在、義務教育の猶予若しくは免除を受けている者、又は以前に受けた者。
■旧尋常小学校又は旧国民学校への就学義務の猶予又は免除を受けた者。
■義務教育諸学校を卒業できなかった者で、手続きをして猶予又は免除を受けなかったが、猶予又は免除を受けることができない者。

試験の方法
筆記（盲人の受験者は点字）の方法で行われます。

試験の期日
昭和五十二年十一月十一日（金）
十日町市教育委員会申込みをとりまわりますので、希望の方は八月二十五日までに市教委まで連絡ください。

が特別土地保育税の課税
②固定資産の証明または閲覧
●土地家屋籍係
●土地家屋台帳および地籍図等の整備保管
納税組合に加入するとか、口座振替え制度を利用すると納税の手数が省け、また納税を忘れたいすることがなくなつたいへん便利です。市税について、おわかりにならないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。
「納税であるの橋あの学校」
（中学生標準入選作品）
（徳水税務課長）

不用品交換会を開催!

消費者協会十日町支部(藤田つね子会長)は、はじめての企画として不用品交換会を開催することになりました。

これは、昨年から実施している不用品交換登録制度に関連して行うもので、各家庭にねむっている品物を有効に活用することを目的としています。

開催要項はつぎのとおりですが、できるだけ多くのみなさんの参加をお願いします。

期日 九月四日(日)午前十時～午後三時まで。

会場 市勤労青少年ホーム一階運動場。

品物の受付 八月二十二日(九月二日)までの毎日午後一時



④四時まで青少年ホームへ

品物 ①新品・贈答用品(ナトウ、カンズメ、タオル、トモノなど) ②中古品(電気製品、育児用品、自転車、スキー用品、書籍など) ③その他、自分の家では使用しないが、まだ十分使える物。

なお、詳細は市商工課内消費者協会事務局(☎7-3111番)

消費生活についての苦情や相談にどうぞ

●消費生活改善監視員

市村ミツイ(伊達第4)

☎8-2802番

●消費生活改善推進員

湯沢 澄(学校町2)

☎7-3548番

ゆづりまわ・ゆづりまわ・ゆづりまわ

◆7月末日までの受付分

(希望者は、市役所商工課内消費者協会へ)

品名	規格	希望価格	品名	規格	希望価格
電子レンジ	品	五万円	鉄なべ	直徑40cm位	不明
乾燥機	プロパンガス用中古	二万五千元	ジグザクミン	ポタンホールのできるもの中古	不明
カセット機	ビクター中古	四万円			
	ブラザーオートミッド中古	一万五千元			



三種混合予防接種を実施

昭和五十二年の百日咳、ジフテリア、破傷風三種混合予防接種を左表の日程により実施します。

該当事者 昭和四十九年十月一日～五十年九月三十日まで生まれ、及び昨年

停電のお知らせ
 ●8月23日(火)午前9時～正午まで、西守町の部、七軒町の一部、加賀系原町の一部。
 ●8月25日(木)午前8時～正午まで、四日町新田第3の一部、本町7丁目1・2の各一部。
 ●8月31日(水)午前9時～正午まで、本町6丁目の3。

寄付ありがとうございます
 社会福祉事業へ
 ■村山サンクリーン(新室)40,000円 ■内藤直義(控木)1,000円 ■佐野京子(関町)11,500円

善行青少年(団体)の推せんを
 市では、職場などにおける善行、社会奉仕、人命救助、事故防止などの善行が認められる青少年を選んでつぎのとおり顕彰することになりましたので、市民各位のご推せんをお願いします。

■被表彰者の資格
 ①昭和52年8月20日現在満25才未満の者
 ②市内に住居している個人、団体
 ③市で定めた「善行判断基準」に該当する善行等があって、他の模範とされるもの。

■推せん書の締切り 昭和52年8月20日
 推せん方法等詳細は市社会福祉事務所へ(☎7-3111番)

重度障害者福祉手当の支払月が変更になりました
 昭和50年10月より重度障害者に対して、福祉手当が給付され、現在月額5,000円を、1月、5月、9月の各10日に支給しておりましたが、法律が改正され、昭和52年8月分より、月額5,500円に増額されました。
 また、支給月も8月、12月、4月の各10日に変更になりましたのでお知らせします。

地区名	月日	受付時間	接種会場
十日町全区	9月1日(木)	午後1時半～2時半	勤労青少年ホーム
新庄大井田			
中条飛渡	9月2日(金)	午後1時半～2時	中条地区公民館
水沢全区			
川治・八箇六箇全区	9月5日(月)	午後1時半～2時	川治地区公民館
下条全区			
吉田全区			下条出張所